

島根県看護連盟だより

TWO HEART

ツウハート

2023/1/1

第61号

新春号



INDEX

2022年11月30日 ユネスコ無形文化遺産に登録「津和野の鷺舞 伝承400年余」

- 島根県看護連盟会長挨拶 ……2
- 島根県議会への要望 ……2
- 島根県看護協会会長挨拶 ……3
- あべ俊子衆議院議員挨拶 ……3
- たかがい恵美子衆議院議員挨拶 ……4
- 石田まさひろ参議院議員挨拶 ……4
- とものう理緒参議院議員挨拶 ……4
- 米田ときこ松江市議会議員挨拶 ……5
- 中国・四国ブロック看護政策セミナー ……5
- 医療現場からのレポート ……6
- 新人研修に参加して ……7
- ポリナビワークショップ in 島根報告 ……8
- お知らせコーナー ……8
- 広告・編集後記 ……8



島根県看護連盟  
ホームページ

発行：島根県看護連盟

発行責任者：会長 川合政恵

〒690-0049 松江市袖師町7-11 看護研修センター内  
TEL(0852) 27- 6361・FAX(0852) 27- 6417  
E-mail: shima-kangoren @ vesta.ocn.ne.jp

# 新年のご挨拶

島根県看護連盟 会長 川合政恵



あけましておめでとうございます。

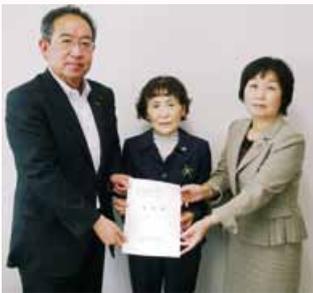
会員みなさまには、それぞれの抱負を胸に新たな年をお迎えになられたことと思います。昨冬からの第8波コロナウイルス感染拡大の波が続かなか、年末・年始の間も昼夜、医療現場に立ちご尽力いただいている看護職の皆様にご敬意を申し上げます。昨年は、参議院議員選挙で友納理緒議員が勝利を勝ち取り、看護の議席を堅守できた大変喜ばしい年でした。

ひとえに会員の皆さま方のご支援による勝利であり、改めて感謝申し上げます。

看護協会・看護連盟の働きかけと看護職議員のご尽力により、長年の看護職員の賃金問題に対して政策的に光が当たり、国は新型コロナウイルス感染症に対峙してきた看護職員の収入増加を図る方針から、処遇改善に着手しました。昨年2月から国の補助金を活用した収入の1%程度引き上げが行われ、10月からは、診療報酬上で「看護職員の処遇改善評価料」が新設されました。今のところ、「算定」できる病院の条件が限定されていますが、該当する医療機関においては、看護職員の処遇改善への対応がスタートしました。さらに、昨年11月18日には、国家公務員医療職俸給表(三)の級別標準職務表を改正する人事院規則が公布されました。改正内容は副看護師長を3級、看護師長を4級とする、高度の知識・経験に基づき困難な業務を処理する看護師の職務を3級に位置付けるといった内容です。医療職俸給表(三)は、多くの医療機関の看護職員の賃金に大きく影響を及ぼします。今回の俸給表の見直しにより、多くの医療機関で看護職の役割に見合った賃金体系の導入と処遇改善が進むことが期待されます。医療機関で導入が推進されるよう、看護協会事業への協力と連携、看護職国会議員、地方議員に働きかけを行ってまいります。

本年も引続いて、看護職にとって重要となる看護政策の実現に向け連盟活動を推進してまいります。看護職国会議員の先生方の国政の場での活躍を支援してまいりましょう。会員の皆様には連盟活動への積極的な参加をよろしくお願いいたします。

## 島根県議会への要望



2022年度看護関連事業に関する要望を島根県看護協会と看護連盟が連名で、9月21日に自由民主党島根県議会議員連盟、島根県議会自由民主党に提出しました。



### 要望書

少子超高齢社会が進展する中、平成26年6月に「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律(医療介護総合確保推進法)」が成立し、地域における効率的かつ質の高い医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築に向けた取組が開始されました。従来の病院完結型の医療から、医療・ケアと生活が一体化した地域完結型の体制へ転換され、人々の暮らしの中で、在宅療養を担う訪問看護の役割はますます大看護師5名以下のステーションにおいても訪問看護ステーションは徐々に増加していますが、看護5名以下のステーションが約7割であり、人材の確保・定着、人材育成等の課題を抱えています。また、地域医療の一端を担う訪問看護において、多職種との情報共有と連携が重要です。看護現場におけるIT化の実現は、利用者サービス向上に繋がる有効な手段と考えています。

つきましては、2023年度島根県の予算編成にあたり、予算の確保や基金予算の中における看護関連事業予算の確実な確保についてご尽力を賜りますよう強く要望いたします。また、社会状況の変化から看護職の担う役割が大きく変容する中で、看護基礎教育や資格取得後の専門教育等、多くの課題が残されているため、本県の将来を見据えた検討の場の設置を併せて要望いたします。

### 記

#### 看護関連事業予算の確実な確保についての要望事項

1. 訪問看護師の確保・定着、人材育成等を支援する統括的センターの設置
2. 在宅医療推進のためのまめネットの普及拡大と訪問看護が活用できる環境整備に対する支援
3. 島根の看護を考える会(仮称)の設置

令和4年9月21日

公益社団法人島根県看護協会  
会長 秦美恵子

島根県看護連盟  
会長 川合政恵

公益社団法人島根県看護協会 会長 秦 美恵子



あけましておめでとうございます。

日頃は、島根県看護協会活動につきまして、温かいご支援ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は3年にも及び未だ収束の兆しは見えない状況です。看護職をはじめ第一線でご尽力いただいている全ての皆さまに、敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年の第26回参議院選において、看護職代表の友納理緒氏が初当選したことは、大変喜ばしいことでした。今後のご活躍に期待をしています。

昨年11月18日には、人事院規則が改正され、国家公務員医療職俸給表(三)級別標準職務表の見直しが公表されました。長年に渡る看護連盟・看護協会の活動と看護代表の議員のご尽力の結果だと痛感しています。看護協会では、この大きなチャンスを見合った給与体系にどう繋げていけばよいのか、看護管理者等への情報提供や提案をしながら関係者の皆さまと一緒に進めてまいります。

また、令和5年度は、翌令和6年度から始まる第8次医療計画や第9期介護保険事業計画が策定される重要な年です。課題解決に向けた看護政策について、看護連盟としっかり連携しながら取組んでまいりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

「新春にむけて」 衆議院議員 あべ 俊子



新年あけましておめでとうございます。元日のすがすがしい朝の空気は、いつでも初心を思い起こさせます。

時代は大きく動いています。昨年は世界情勢の変動による物価高、更なる技術革新、コロナ禍によるDX化の推進など、多くの事柄が急速に変化しました。このような変化を看護業務の効率化、看護の専門性の向上、地域医療の推進にどのように繋がられるだろうか、といつも考えています。コロナ禍では、現場の看護師不足が顕著になりました。これは看護師の絶対数が少ないのではなく、医療制度の在り方、人員配置、地域医療への移行など、複数の要因が絡まったものです。一つ一つを解きほぐし、より良い看護を提供するための現場に変えていかなければなりません。看護師に期待される役割が増えるなか、現場の看護職の業務内容も変化しており、人材確保や研修参加にご理解とご協力をお願い申し上げます。

いつの時も、看護の最前線は臨床であり、病院や在宅で看護ケアを提供する皆さまです。政策立案の基本となるのは、現場の声です。人や社会を支える看護が、時勢にもとづいて変革していくことを貴連盟の皆さまと一緒に支えてまいりたいと存じます。

島根県看護連盟の LINE 公式アカウント



島根県看護連盟の LINE 公式アカウントで最新情報を届けます。  
QRコードで LINE の友だちを追加して下さい。



島根県看護連盟青年部の Twitter & インスタグラムの公式アカウント!



島根県看護連盟 青年部



Instagram 始めました!



青年部から  
発信します。  
ぜひ、ご覧  
ください。



衆議院議員 たかがい 恵美子

初春の穏やかな日日に皆様の麗らかな笑顔が重なります。島根県看護連盟の皆様におかれましては、平素変わらぬご厚情に心から感謝を申し上げます。

働き盛り世代が急減する中での子育て支援をはじめ、我が国は今、物質的豊かさの追求から人生100年に渡る尊厳重視へ、公共政策の関心が大きく転換しつつあります。自民党では昨夏の内閣改造後に人生100年時代戦略本部を廃し、新たに社会保障制度調査会を強化して、全世代を視野に入れた次代の制度体系について議論を始めています。役員の一員として、性差に着目した科学的な健康支援も積極的に取り入れ、幸せに齢を重ねることのできる近未来の地域づくりに取り組んで参ります。

穏やかならざる世情の鎮撫を願い、また各地で活躍する皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。



参議院議員 石田 まさひろ

島根県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられたことと存じます。新型コロナ禍における多くの困難の中、医療の最前線に立ち続け、地域の健康を守るために力を尽くされている皆様に心より感謝と敬意を申し上げます。

国会において、議院運営委員会理事、厚生労働委員会委員、参議院自民党国会対策委員会副委員長を拝命致しました。国会運営が円滑に進むよう交渉役として走り回ると共に、引き続き、厚生労働政策を推し進めて参ります。

昨年11月、国家公務員看護職の俸給表である医療職俸給表(三)の昇級基準の改正が公表され、長年の課題であったキャリアアップに伴う処遇が改善されます。今回の改正では、看護師長クラスや高度な知識経験を持つ看護師の給与のランクが上がることとなります。これにより、看護師としての経験を積み、責任が大きな立場になると、それに見合っただけで給与が上がる仕組みへと前進しました。各病院でも、改正に追随するよう、給与表の見直しに取り組んで欲しいと思います。

皆様が「今日も良い看護ができた」と実感できる環境づくりのために引き続き尽力して参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。



参議院議員 友納 理緒

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。コロナ禍、様々な局面で命と向き合い、看護を提供して下さっている皆さまに心より感謝申し上げます。

昨年は皆さまから力強いご支援を賜り、国会に送り出させていただきました。9月1日に開催された自民党の看護問題小委員会では、事務局次長を拝命し、看護職員全体の処遇改善とあわせ、資格管理活用基盤構築の確実な実施、特定行為の周知、看護教員等への幅広い研修体制の充実(ハラスメントなどを含め)などの必要性を述べさせていただきました。

10月3日から始まった臨時国会では、厚生労働委員会で初質問の機会をいただき、今後、新たな感染症に対応するためには、処遇、配置、環境など平時からの看護提供体制の強化が必要であることを訴えました。11月には、長年の懸案事項だった国家公務員医療職俸給表(三)の改正がなされました。声をあげれば変わることがあります。皆さまの声をしっかりと国政に届ける役割を今後も果たして参ります。

本年4月に「こども家庭庁」が創設されます。こどもの命を守るため、妊娠前からの切れ目のない支援を行うため、看護職には大きな役割が期待されます。

看護の明日をともに作りましょう。本年もどうぞよろしくお願い致します。



松江市議会議員 米田 ときこ

新年あけましておめでとうございます。  
皆様にはコロナ禍の中で、日々患者様と向き合いつつ変わらぬご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

2023年は卯年ですが、兎は跳ねる特徴から景気が上向きになる、回復するとも言われています。しかし新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中で、なかなか生活のしづらさや業務の多忙な中、日進月歩の医療に対応することは大変なことと存じます。昨今は様々な情報が錯綜し抱えきれない情報量があります。個々の取捨選択力やフェイク情報を見抜く力も重要です。SNSなど気軽に取れる情報から文献によるエビデンスに基づくものまで幅広くあります。「鳶目兎耳（えんもくとじ）」つまり情報が錯綜しているこの時代、情報入手力が低いと対応できないことがあります。鳶の目は遠くのことまで目ざとく見つけ、兎の耳はささいな音も聞きもらさないという意味で、私も鳶目兎耳となり令和5年を会員の皆様に有益な情報が提供出来るよう活動していきたいと思っております。今年には地方統一選挙の年でもあります。看護政策に理解・協力いただける地方議員や市民を増やせるよう頑張ります。



## 2022年度 中国・四国ブロック 看護管理者・看護教育者 看護政策セミナー開催

11月19日(土) 中国、四国ブロック 63カ所をオンラインでつないで開催。  
140名の参加がありました。(開催担当 島根県)

### 《講演内容》



高見康裕 衆議院議員  
「新人議員から見た  
国政の最新の動き」



友納理緒 参議院議員  
「国政報告と看護政策～  
政策実現に向けた取り組み」



日本看護協会  
森内みね子 常任理事  
「2022年度  
重点事業について」



日本看護連盟  
近藤美知子 幹事長  
「看護の未来を創る～  
看護連盟と看護政策」



### 〈受講者アンケート〉

受講者「満足度」が高く、今後もオンライン開催への要望が多かった。

看護管理者からは、「管理者として理解すべき内容が網羅されていた。」「連盟活動の重要性を伝えていきたい。」等、意見があった。



## 当院の特定行為研修の現状 ～ 育成・活用・配置 ～



松江赤十字病院 看護部長 加納 さえ子

厚生労働省は2025年までに特定看護師\*を10万人、島根県は100人を育成目標にしています。当院では2025年までに25人を目標とし計画を進めています。育成状況は修了者が6人、研修中が9人で特定行為区分は16区分に渡ります(11月末現在)。ユニット固定型配置では各勤務帯に1人以上配置することを目標としていますが、受講者を増やさなければ難しい現状があります。個人のキャリアニーズとの調整や診療部門との協力を更に進めていく必要性を感じています。また、特定認定看護師\*\*を中心とした組織横断型配置では、認定活動日を利用した限られた活動であったり、コロナ禍で勤務者不足により勤務調整に難渋したりと、管理面での支援不足を痛感しています。しかし創傷管理関連等の活動が軌道に乗りつつあり、今後は病院からアウトリーチし在宅療養支援への貢献を目指して行きたいと思えます。

特定行為によって在宅医療ニーズは勿論ですが、当院が担う急性期医療においても医師が手術や外来診療等に集中でき、医療者の都合ではなく、少しでも患者の状態に合わせたタイムリーな対応が可能になると考えます。また特定看護師の実践によりケアの質が上がり、看護師への教育的介入によって更に看護の質が向上すると思えます。タイムリーな実践による重症化予防や早期回復に貢献でき、説明力や対話力向上により、多職種協働によるチーム医療のキーパーソンの役割を担えるのではないかと考えます。先日「特定看護師・特定認定看護師の活動を知ろう!」と題して、実践報告会を開催しました。夕方1時間の研修でしたが約60名が参加しました。新人から管理者まで幅広い経験年数の参加があり、特定看護師への興味が深まったというアンケート結果でした。特定行為研修受講に前向きな回答もあり、今後の育成につなげていきたいと思えます。また、初期キャリア看護師にとっては、新たなキャリアモデルの1つになったのではないかと考えます。以上のように、課題も多いですが少しずつ前に進めています。現状をポジティブに捉えて、今後も未来志向で安全、着実に取り組み続けて行きたいと思えます。

( \* 特定看護師：特定行為修了者 ・ \*\* 特定認定看護師：特定行為研修修了した認定看護師 )

## 2022年度(令和4年度) 看護連盟会員 募集中

- ❖ 看護連盟は看護の現場をよくするために活動しています。
- ❖ 会員一人ひとりが看護連盟の力となります。 ❖ 多くの方の入会をお待ちしています。



### 正会員・特別会員

年会費 9,000円

(内訳) 日本看護連盟会費 5,000円  
島根県看護連盟会費 4,000円

\* 特別会員：正会員の経験を有し未就業で看護協会でない方

### 賛助会員

年会費 1,000円

看護連盟の主旨に賛同して  
いただける人であればどな  
たでも入会できます

### 学生会員

会費 無料

就学している  
看護学生の方

お問い合わせ 島根県看護連盟 電話：0852-27-6361 E-mail：shima-kangoren@Vesta.ocn.ne.jp

## 新人研修に参加して



### 「看護協会・看護連盟 新人研修を受講して」

島根県立中央病院 看護師  
日野 優希



本研修を受講し、看護協会と看護連盟の役割や立場の違いを知ることができた。現在の医療・看護・福祉を取り巻く現状を日本全体の推移をこれまで知る機会があったが、島根県の現状を初めて知ることができた。ピックアップされた問題をどのように改善したらよいのか対策を考える協会と、実現するために政治活動を活発にする連盟のつながりの重要性を学び、当然のように参加している新人看護職研修も、協会と連盟のつながりによって実現されたものだと思った。より働きやすい労働環境を構築するために、青年部の活動に参加するなど行動していきたい。

### 研修に参加してみて感じたこと。

益田赤十字病院  
俵 聖吉



今回の研修に参加してみて、看護協会と看護連盟のそれぞれの活動を知ることが出来た。看護協会が現場の声に耳を傾け代弁し、看護連盟が政治力を活かして政策の場で発言することにより自分たちの環境や処遇が改善され、より良く働くことが出来ているのだと学んだ。看護師の働く環境が良くなることは、質の高い看護の提供に繋がる。教育制度が充実してきており、新人看護師も安心して知識や技術を習得できるのは、看護協会と看護連盟の働きのおかげだと思う。現場を良くするために様々な取り組みが行われていることを多くの人に発信していきたい。

## 新人研修に参加して

松江赤十字病院 濱井 美里

今回、私は看護専門職の一員として職能団体について学ぶ新人研修に参加してきました。

看護協会、看護連盟の役割や働きの違いについて知ることができました。また、これまでの協会や連盟の働きがあって、私たちの働く環境も改善されてきていることを知りました。

看護協会や看護連盟の役割を知ったり政治に関心を持ち、高齢化やICT化、感染症の拡大などの新たな問題に対応した働きやすい環境づくりに繋げていく必要があると思いました。

島根大学医学部付属病院 看護部

小児科看護師 藤原 由華

今回の研修を受けて、看護職能団体の一員として何ができるのか考える機会になりました。

看護職の活動を支援する団体でスキルアップにつながる研修や事業を行い、政策提言活動をしている看護協会と、政策実現のために国政や地方議会に議員を送り、政治活動をしている看護連盟の二つの団体が役割分担することで、現場の問題は解決・改善されてきたのだと分かりました。先輩看護師の方々が現場の問題を声にすることで、働きやすい労働条件や勤務環境を実現されてきたように、私も現場の問題に対して意見を持ち、選挙に行くことで自分の声をあげていこうと思いました。

## 新人研修を受講しての感想

益田地域医療センター医師会病院  
看護部 漆松 友香

この度県看護連盟主催の新人研修を受講しました。看護学校卒業前にもガイダンスを受ける機会がありましたが、今回直接連盟や看護協会の方から設立理念や具体的な事業活動について聞かせていただき、それぞれの役割分担や協力体制、看護分野の向上のために現場の声を政策につなげることの重要性を理解することができました。新人として自分の事でまだ精いっぱいなことも多いですが、周囲に目を向けながら自分にもできる活動を探していきたいです。

# 第14回 ポリナビワークショップ in 島根を終えて



## リモートだからこそつながれる、新しいポリナビのかたち

青年部副委員長 山田 洋一

10月22日(土)、ポリナビワークショップを開催しました。今回は、初めてのリモート開催ということで、準備段階から不安を抱えながらの実施でした。青年部委員になって3回目の関わりで、対面だからこそ伝わる雰囲気もあると感じています。今、感染予防の観点から、研修の中止やリモートでの開催が増えており、新人や若手経験層の看護職者同士の接点が減っている中、悩みや課題を共有する場が大切だとも思います。しかし、そこは、今回講師としてお迎えした石田まさひろ議員の対話力のすごさ、待機時間がらエンジン全開で質問タイムが始まりました。以前、参加したポリナビで石田先生の人柄に触れて、今回の講師のお話もお願いした経緯もあったので、狙い通りの盛り上がりになったかなと思えました。その時のポリナビのテーマも「看護の未来」でしたが、今回も将来の働き方についてテーマを設け、若いうちから将来を見据えたキャリア設計を考える良い機会になったように思います。そして、広い視野で情報を集める観点からも、今回のリモート開催は発展の余地があるように思います。普段、他県の青年部の活動を聞く中でも、いろんな発想があるなと感じています。リモートでうまく横のつながりを使うことで、よりバラエティーに富んだイベントにもつながるかなと先の発展にも期待が膨らむ開催となりました。



## Information to Heart 【研修・行事予定】

開催日	行 事	場 所	講 師
2023年3月4日(土)	看護協会・看護連盟合同研修会	パルメイト出雲	参議院議員 石田まさひろ氏
2023年6月25日(日)	島根県看護連盟通常総会	ビッグハート出雲	特別講演 参議院議員 ともこのりお氏

東洋羽毛

## 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです

### 睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

\*オンラインセミナーの開催も承ります。

#### 《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代勤務における睡眠のコツなど
- メンタルヘルス研修 労働者におけるストレスと睡眠の関係
- 学校保健委員会 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- 高齢者の睡眠ケア 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけは知ってほしい生活習慣

\*他、施設内研修などご相談承ります（事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です）

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策（検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行いながらセミナーを実施しています。

●セミナーに申し込みたい方は、ご来社（バーコードよりお問い合わせください。届後よりご連絡させていただきます。https://www.toyoyumo.co.jp/seminar



**東洋羽毛中四国販売株式会社 島根営業所**  
〒690-0055 島根県松江市津田町316-2

～お問い合わせはお気軽に～  
フリーコール 0120-996104

## 編集後記

卯(うさぎ)は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

2023年の卯年は、コロナで苦しんだ数年間から大きく「飛躍」し、私達の生活が「向上」する年になる事を祈ります。

〈広報委員〉

竹谷、梶谷、加藤、丸山、桶田、田辺